

2025年3月25日発行

VOL.0040

# 第40号

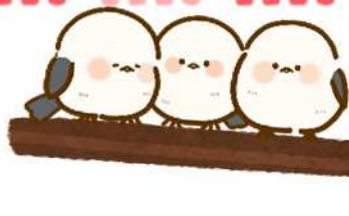
# ぴぼっと 南光台通信



2月2日に行った「ちょこ・活」の様子です。  
恵方巻、バレンタインチョコを作りました

発行： 社会福祉法人つどいの家 地域生活サポートセンター「ぴぼっと南光台」  
責任者： 三浦 郁美（管理者）  
住所： 981-8003 仙台市泉区南光台 3丁目 1-24  
連絡先： TEL 022-779-7341 FAX 022-779-7342





## 管理者あいさつ



年度の終わりが近づいてきました。この一年、利用者の方や地域の方々と共に、事業所として充実した時間を過ごすことができ、日頃の温かいご支援に心より感謝いたします。

さて、最近ニュースなどでもよく取り上げられていますが、食品や生活用品の値上がりが続いています。お店に行くたびに「また値段が上がっている…」と感じることも多いのではないのでしょうか。当事業所の短期入所では、宿泊される方に夕食と朝食を提供していますが、限られた予算の中で食材を揃えることが以前よりも難しくなってきました。配食サービスの導入を考えた時もありましたが、食べられる物が限られている方、柔らかく食べやすい調理が必要な方など、それぞれに配慮が必要なため、現在も夜勤スタッフが調理を続けています。また、せっかくのお泊まりですので、ご希望に沿った食事を用意したいのですが、最近思うようにいかないことも増えてきました。

物価高騰は、しょうがいのある方々の生活全般にも大きく影響しています。限られた収入の中でやりくりされている方も多く、日々の生活費の負担が増えているのが現状です。移動支援を利用して買い物やランチを楽しんでいた方の中には、外食費や交通費の負担が大きくなり、利用を控えるケースも出てきています。このような状況でも、安心して過ごせる環境を整えていきたいと考えていますが、こうした課題を解決するためには、社会全体の理解や支援も必要です。すべての人が安心して暮らせる社会の実現に向けて、皆さんと共に考え、取り組んでいければと思います。

管理者 三浦郁美

## 権利擁護内部研修報告

1月24日に権利擁護の内部研修を行ないました。支援の場面での利用者さんと職員のやりとりを想定した5つの動画を視聴したあと、各動画のどの部分が不適切な支援だったのかを話し合いました。

生活介護事業所では送迎車に乗るまでの時間や、お出かけ前のトイレの時間、グループホームは夕食前の時間等の場面でした。生活介護事業所では、職員のその日の勤務体制によって、利用者さんに待っててもらえる時間が出来てしまうのかと思います。しかし、待つ事が難しい利用者さんもいらっしゃると思うので、その時は臨機応変に対応できるのではないかと思います。他の職員がいる場合には、声を掛け合い、フォローし合うなどの工夫で利用者さんが待つ時間や、我慢する時間を減らせるのではないかと思います。

私も、自分の支援に疑問を持った際には、事業所内の会議などで話し合い、検討することで、より良い支援を提供できるようにしたいと思います。

すてっぷ・はうす 渡部



# ★ ガイドヘルパー視察研修感想



## ～参加したぺんたす職員より～

先月、東京にある「結び-me」さんに訪問してきました。ちょうどぺんたすと同じ時期にガイドヘルパーの研修・採用を始められており、お互いに情報共有を行いながら、今後のガイドヘルパーのあり方を考える、とてもいい機会になりました。話の中でも強く印象に残っているのは「従業員ファースト」という考え方でした。移動支援の食事代は1000円まで利用者さんに負担してもらう。ヘルパーと利用者さんの関わりを見て、相性を考えて移動支援を組む。もちろんいろんな考え方があるとは思いますが、僕にとっては見習いたいと思わせる話の内容でした。利用者さんのことも大事ですが、ヘルパーも等しく大事な存在です。ヘルパーの待遇を良くすることは、回りまわって利用者さんの為になる。心にゆとりのあるヘルパーは、利用者さんにもゆとりをもって関わり合えるはず。反対に、ヘルパーの不満や余裕のなさは、移動支援に入った利用者さんとの関係性にも悪影響を与えてしまいかねません。わずかな亀裂から虐待へとつながってしまう可能性も十分にあり得ます。そうなってしまうことを避けるためにも、ヘルパーの負担を減らすことには大きな意義があるように思います。もっとも、結び-meの代表の方は「ヘルパーにも楽しんでもらいたい」と言っていました。ヘルパーも利用者さんも、お互いが楽しめる移動支援にできたのなら、それに代わるものはありません。そのためにできることを、地道にこなしていきたいです。

ぺんたす 大沼真毅



## ～参加した学生ヘルパーより～

東京研修では沢山の学びがありました。中でも、事業所ごとに様々な取り組みや工夫、努力をしていることを初めて詳しく聞くことができ、勉強になりました。また、声掛けの仕方や利用者さんの意思の尊重等についても教えていただき、支援者として大切なことに改めて気付かされました。これからは今回学んだことも活かしながら、ガイドヘルパーとしてもっと頑張っていきたいと思います！

ガイドヘルパー 石橋穂香

お出かけの際には、利用者の皆さんが余暇を楽しめるようサポートを心がけています。今回の研修では、利用者さんとの向き合い方について改めて考える良い機会となりました。また、先輩ヘルパーとして後輩に教える際、利用者さんとの過ごし方をどのように伝えるべきかを学びました。この研修を生かし、これからも利用者さんが楽しめるよう努めていきたいと思えます。

ガイドヘルパー 村上菜緒

## 第10回 ちょこ・活を開催しました！

2/2（日）、この日は節分！そしてすぐバレンタイン！ということで2月のイベントをどちらも楽しめるちょこ・活を開催しました！今回の企画・運営は学生ボランティアさんに行なってもらいました！



まずはバレンタインチョコ作り。2枚の色違いの板チョコを溶かしてくるくる混ぜると…マーブル柄に！カラースプレーなどをトッピングして、かわいいチョコが出来ました！

チョコを冷やしている間に、恵方巻づくり。学生ボランティアさんたちが準備してくれた材料を選び、簾を使って巻き巻き…。具を入れすぎてふと〜い恵方巻になっている方もいましたが、みなさん美味しそうな恵方巻が出来ていました！

食後は、学生さん手作りの魚釣りゲーム。なんと今回のために、手作りの賞状とメダルも用意してくれました。皆さん賞状とメダルを目指して真剣に魚釣りをしていました！

参加した利用者さんや学生さんから「楽しかった！またやりたい！」という感想ももらうことができ、今回のちょこ・活も大成功でした！！今回の南光台通信の表紙も素敵なので、ぜひ見てくださいね♪

来年度も素敵な企画を考えていますので、皆さまのご参加お待ちしております！

（すてっぴ・はうす 横山）



### きょうだい支援

## BRIDGE（ブリッジ）

つどいの家きょうだい支援プロジェクトBRIDGE（ブリッジ）では、1月12日（日）に新春親子イベントを開催しました。3組の親子が参加をし、工作・飾り巻き寿司作りに挑戦！昼食後には昔遊びをしたりと、盛りだくさんの活動で楽しく過ごしました。当日は南光台おやじの会、町内会の方にご協力いただいた他、たくさんの協賛をいただきました。ありがとうございます。

2月15日（土）にはきょうだい会 SHAMS 代表の滝島真優さんを講師に招き「きょうだい支援の必要性とその支援」についての研修会を行いました。保護者、教育・福祉関係者や大学生、高校生、町内の方々が参加してくれました。滝島さんの体験されたことや現在の活動で出会ったきょうだいさんの思いなどもお話ししていただきました。様々な立場の会場の方々が一緒にきょうだいさんについて考える時間となりました。

参加してくれた皆さま、滝島様、ありがとうございました。

（事務 山口）



4月のきょうだいの日記念イベントを皮切りに、来年度もきょうだい会や親子参加イベント、研修会などを開催予定です。興味のある方は法人ホームページ内のサイトをご覧ください。各種お申し込みフォームもございます。

※病気やしょうがいのある方の兄弟姉妹をきょうだいと表しています。

## しょうがい理解シリーズ

『しょうがい』のすべてを理解するというのは、難しいことだと私は思っています。身体障害、知的障害、精神障害などと様々に分かれていて、そこからさらに細かく分類されています。覚えきれません。ごめんなさい。

私は、自分と関わる利用者さんのことを知ることでいっぱい입니다。『しょうがい』を知るというより、その人はどういう人なの？ どういう環境で過ごしているの？ なにが好きなの？ なにがしたいの？ と、本人のことをいっぱい知って、いっぱい考えるようにしています。自分で教えてくれる人もいますが、支援者が行動を観察し、考察して知る人もいます。少しずつその人のことを知っていくと、その人が困っていることや課題が見えてきます。あとは、その人の困りごとを解決していく方法を、インターネットや参考書からヒントを得て実際にやってみる。だいたい失敗します。ですが、その失敗でもまたひとつ、その人を知ることができます。支援は100個取り組んでみてひとつうまくいけば上出来と言われることもあります。

自分のことを理解してくれる友人がそんなに多くないように、他人を理解するってものすごく時間がかかるし、相性も大事になってきます。私はこれからも、目の前にいるその人のことを、いっぱい知ろうと思います。

ぺんたす 小原翔牙

## 職員随想

日ごとに暖かい日が多くなり、休みの日には外に写真を撮りに行こうかと最近思っていて、昔使っていたカメラを磨いているところです。

今回は、最近あったうれしい出来事を書きたいと思います。

年明けに体調を崩して、休みをいただくことができました。体調が回復し、久しぶりに入浴介助でご自宅にお邪魔した際、利用者の方から「寂しかった」ということばを、お会いしてすぐにいただき、ヘルパーの手を握っていただきました。「びっくりした。そういった言葉は聞いたことがなかった。」と家族の方も話されており、嬉しくて不覚にも、涙が出そうになりました。

利用者の方にそう思っただけなのは光栄なことで、ヘルパー冥利に尽きると思いました。

自分がこの仕事を続けていられるのは、利用者の方の笑顔や、意図せぬこういった言葉などに動かされているのだなと、このような出来事で改めて感じています。

今後は、より一層体調を崩さないように気を付け、真摯に利用者の方に向き合っていこうと思います。これからも頑張っていきます。

ぺんたす 工藤



# 仙台建設業協会様よりご寄付をいただきました



いただいた寄付金で、すてっぷ・はうすの寝具、調理器具の新調などの環境整備を行いました。

また、大人気で何度も再生したため、見られなくなってしまったDVDも購入しました。おかげさまで、利用者さんに快適にお過ごしいただけます。

ありがとうございました。



## 町内会新年会に参加しました



1月12日(日)南光台第二町内会の新年会に職員2名が参加させていただきました。当日は二胡の演奏を聴き、グループトークを楽しみ、ビンゴ大会をしてお弁当をいただきました。普段はゆっくりとお話することがない町内の方々とお話しができ、心温まる時間を過ごすことができました。

ありがとうございます。

町内の皆さま、今後ともどうぞよろしくお願いたします。



### 退職者のお知らせ(大学卒業のため)

ガイドヘルパー 宮本葵 伊藤直登

介護人 小野寺南実 高橋快斗



### 編集後記

今年度は地域交流イベントを開催することができ、新しい出会いがあったり、いつもお世話になっている方々が足を運んでくれたりしました。また、ちょこ・活、ガイドヘルパー養成講座には、たくさんの学生が参加してくれました。すべての出会いと繋がりに感謝申し上げます。

山口

